△産業宣教 産業人が伝えるまことの癒やし(創 1:27, 創 6:14)	△レムナント伝道学 レムナントの祈りのやぐら ④ - 237 適用(創 37:1-11)	△核心 237 実際の答え - 世界福音化(使 1:8)	△散らされた弟子たち 旧約時代の伝道の道しるべ ② - 荒野(出 3:18)
□序論 1. 癒やし対象者は多い。癒やし対象者が産業人を見てヒーリングになることが最初の条件 1) W・I・O 癒やし対象者が皆さんを見て、神様が、私、私たちの、すべてのこととおられることを知れば良い 2) 7・7・3 まことの祈りは、キリストが与えられたやぐら、旅程、道しるべ 3) 使 13・16・19 まことの癒やしができる教会になる必要がある。 2. 未信者が行くことができる三つの庭を準備すれば良い。外国人が来て楽に休むことができる教会が多民族する教会だ。人々が異端に陥らないように条件を作れば良い 3. 多くの人が何をするのか探している。産業人を通して作品が出てくれば良い。ただ・唯一性・再創造のシステムが作られる必要がある。これが成功だ。Healing 皆さんの産業体がヒーリングになる所になれば良い □本論 1. 内面癒やしが急務だ。まことの光だけが、これが可能だ。 1) 創 1:27 私のいのちが生かされれば良い 2) 創 2:7 私のおたましいが生かされれば良い 3) 創 2:18 私の生活が生かされれば良い 2. 暗闇癒やし[サタン]にだまされてはならない。 1) 創 3:4-5 「あなたは、神様を信じなくてもかまわない」 2) 創 6:4-5 「あなたは最高になることができる、神様を信じないで、教会になぜ行くのか」 3) 創 11:18 「あなたが成功すれば良い」六日間、この話を聞く。それゆえ、教会で無駄話をしてはならない。 3. 産業癒やしをする必要がある。回復の力が与えられる 1) 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を打つ=サタンの権威を打ち壊すということ 2) 創 6:14 箱舟の中にさえ入れれば生かされる。皆さんに会った人が生かされる必要がある 3) 創 12:1-3 土地、親戚、父の家を離れなさい(滅亡の現場を離れなさい)わたしが示す地に行きなさい。 □結論 [モデル](現場のモデル) 1. 全体 皆さんの契約は必ずなされるので産業人は全体を見なさい。 2. 個人 全体を見て個人を見なさい。 3. 産業、教会 そして、いつも皆さんの産業と教会、同じ答えがあれば良い。 これにならないなら、確認しなさい。毎日宮で、毎日家で。講壇のみことばを牧師の説教として聞くのではなく、神様の御声として聞く必要がある。	□序論 1. 問題が見えたり、難しいとき、大変なとき、どのようにするのか 1) 制限的集中 2) 選択的集中しなさい。イエスがすでに与えられた答えによって 3) ワンネス集中しなさい。問題は祝福の始まり。全体を見なさい。一生の今日、永遠の中の今日だ。 2. 答えが出てくれば、どのようにするのか 1) 事実とみことばを確認して続けて編集 2) 神様の計画が見えれば、神様みことばのとおり設計 3) 現場が見える。デザイン 3. 応答が来るときは、必ず再編集、再設計、再デザインする必要がある。基準は 237。応答が来ないとき、味わって待てば良い △世界福音化と関係なかったり、世界化にならなければ、成功ではない □本論_ 237 適用 タラップ伝道運動は 237 に適用、未信者状態 6 つは 5 千種族に該当。答えがあれば呼べば良い。それが三つの庭。 1. 237 にならなければ 1) 民族主義 2) 鎖国政策が出てくる。 3) 選民思想がイスラエルを滅ぼした 2. 237 になった国、237 させた人、それを理解した一人 1) エジプトでヨセフとモーセ 2) ベリシテ時代にダビデ 3) ヒゼキヤの時 4) ダニエル時代の時 5) ローマ時代の時、全世界に救いの道を知らせた。 3. 未来に対する三つの準備 1) すべての種族、万民、地の果ての共通点は全く私たちが行けない所 2) 癒やしメッセージを持って入って行く必要がある。レムナントが癒やしができなければ、職業、事業はうまくいかない。 3) 皆さんがいる所の中心地を生かせば良い □結論_集中 レムナントは祈り集中を学び、生かす働きをすれば良い。レムナントの学業は 237 になれば良い。	□序論_力 1. 私を準備する時間がある必要 平安、静寂、リリースする時間(私をちょっと置く必要)。寝る前にも考え、心、からだ、すべてリリースすれば良い 2. 環境の中で味わう時間を持てば良い エネルギー、癒やし、サミットの色々な環境の中でエネルギー、癒やし、サミットが必要。これがすべて祈りだ。この時間にエネルギー、癒やし、サミットを祈りて満たせば良い 食事、運動、呼吸-祈り エネルギーは食事を通して生まれる。エネルギーと力を積み上げる運動をする必要がある。腹式呼吸を見つけ出せば良い。すると 5 力が回復 3. 現実- 黙想運動-答えになる黙想の時間を持てば良い。黙想運動を指して、7 やぐら 4. 現場- 答えの時間- 7 旅程 三位一体の神様、どんな場合にも 10 の奥義、10 の土台、どんな危機が来ても確信 5 つ、どんなことも変える 9 つの流れ、一生の答え、私のすべての道は御座のキャンプ、これが旅程 5. 未来- パウロの道しるべの目標は証人の時間 □本論 1. 創造の力 1) 三位一体の神様の力 2) 御座の力 3) 時空超越を分かってこそ 237 が可能 2. この創造の力が私の中に臨むようになる。 1) 創 1:27 2:7 2:18 この力が私の中に、私のたましいの中に、私の生活の中に臨むこと 2) ゼカ 4:6 権力によらず、能力によらず、主の霊によって。ヨエ 2:28 幻を見て、夢を見て、将来のことを見るだろう。 3) 神の国のこと(使 1:3)、主が与えてくださったことを握れば良い。力を受けて証人(使 1:8)になる。マルコの屋上の部屋で、すべての問題が終わったのだ(使 2:1-13)。無知なペテロの説教だ。神様が預言されたこと、成就することを説教(使 2:14-21) 3. 世界福音化-作品 1) 使 2:43-45 聖日祈りで準備 46~47 毎日宮で、家でこうしたことが起こった。 2) 使 3:1-12、8:4-8 すべての人が知っている足の不自由な人を立て起こして、サマリアの問題をイエスの御名で解決 3) だれも癒やすことができない病気を癒やした(使 13・16・19) 4) 会堂で誰も与えない答え(キリストの当為性)提示 5) 永遠のこと。世々にわたって長い間かくされていたこと。とこしえまであることが今、あなたがたに現れた。 □結論_この時のために神様が皆さんを呼ばれたのだ。それが時刻表だ。	□序論_荒野の時間が重要 1. アイデンティティが出てくる。 1) 残りの者 2) 巡礼者 3) 征服者 2. 荒野の証人 1) モーセ ミディアンの荒野で準備、ホレブ山でメッセージを受けるようになる。 2) エリヤ「私はできない」と言うとき、重要なメッセージを受ける。 3) パプテスマのヨハネ 3. 40 年荒野 1) 幕屋、会見の天幕、天幕(何が中心かが重要) 2) 契約の箱(キリスト表現)-聖なる物 3) 三つの庭を見せる □本論 1. 出エジプト約束 1) 出 3:18-20 血のいけにえをささげる日、暗闇とサタンの権威から抜け出てくる。 2) 出 5:1-12:46 10 のわざわい。 3) 出 14:1-13 紅海に導かれた神様 2. 三つの祭り 1) その日が過越祭(救い) 2) 五旬節(力) 3) 仮庵祭(御座の背景) 3. 3 運動 1) 荒野で神様は幕屋運動 2) 契約の箱運動 3) 荒野運動 民 14:1-12 10 人中 2 人の偵察した者の報告、申 6:4-9 刻印 □結論_ 24 祈りリズムがセッティングされれば良い。

△区域メッセージ (第 46 週)
集まる教会と 25 の答え (使 2:1-47)

□序論

私たちは次の三つのことを持って答えを見つける必要がある。

□本論

- カルバリの丘の契約 **完了した** サタン、地獄、わざわざ
イエスがカルバリの丘で「完了した」と言われた。私たちのすべての大きな問題、わざわざ、地獄の背景、サタンの権威をみな打ち壊したのだ。
1) 創 22:1-20 (試練-雄羊) モリヤの山事件だ。神様が子どもを全焼のいけにえとして献げなさいと言われた。アブラハムはイサクを連れて行って、神様がイサクを生かされることを信じた。神様がアブラハムを試練に会わせて、イサクの代わりに雄羊を準備された。
2) 出 3:18 - 奴隷 神様がモーセに「血のいけにえを献げに行きなさい」と言われた。十字架の力を説明するということだった。これによって、すべて成し遂げてしまった。
3) イザ 7:14-捕虜 これを分からないバビロンに捕虜になって行った。まことの王、まことの預言者、まことの祭司の契約を味わって待てば良い。
4) マタ 16:16 - 属国 「あなたは生ける神の子キリストです」ということばは、「主はサタンとわざわざ、地獄を打ち砕かれる」ということだ。
5) ヨハ 19:30 私たちの前には神様の計画を成し遂げる祝福が残っている。
- オリブ山の契約 **御座の力** を 40 日説明された。
1) 使 1:1 復活(確信) なされた主が現れたが確信が生まれたのだ。
2) 使 1:3 私たちの背景は御座だ。私たちに起きる答えは神の国のことだ。
3) 使 1:8 ミッションまで与えられた。しかし (ただ) 聖霊に満たされれば力を受ける。
- マルコの屋上の部屋 契約の最も鍵は **多民族** が入っていることだ。
1) 5 時刻表- 「五旬節の日になって」使 2:46-47 に「毎日宮で毎日家で」
2) 5 門- 15 か国をはじめとして 5 つの門が開かれる。
3) 5 カ- これができる力を受けたのだ。

□結論

3 つの庭- 創 12:1-3、使 1:8

人が来るしかない教会、三つの庭を準備しなさい。初めからアブラハムにこの話をされ、最後にも言われた。「地の果てまで証人になる」
△だまされてはならない(ヨハ 8:44) - 悪魔は本来だます。神様がエゼキエルに「干からびたこの骨は生き返ることはできるのか」と尋ねられたとき、「神、主よ、あなたがよくご存じです」と言った。
1. みことば- みことばを預言しなさい。神様のみことばをよく握る必要がある。
2. いのちの息- いのちの息を吹き込んだところ、干からびた骨が生き返って軍隊になった。

△聖日 1 部礼拝/RU 聖日
時代遅れのユダヤ教を生かす患難 (II テサ 1:1-12)

□序論

- 救われた人には、患難がすなわち祝福、救われていない人には、患難が減る道
1) 福音は運命をひっくり返すことであるため
2) 福音は身分自体を変えることであるため
3) 福音は霊的 DNA を変えることであるため
  - 患難は祝福の機会
※病氣は神様が与えられた霊的力を体験する機会、貧困は底辺から始める機会
1) レムナント 7 人
(1) 奴隷として行って世界福音化が成り立つ確実な祝福を握ったヨセフ
(2) 子どもたちが皆殺されるようになったとき、息子を王宮に養子として送ることにしたヨケベデ
2) ヘブ 11 章の信仰の人々- 三人の青年、ダニエル、エステル
  - 聖書を持って福音を悟れなかった人々が最も恐ろしい迫害者で、時代に遅れた
1) 私たちは選民、ヤハウェは自分たちの国の神だと言って、イエスを殺したユダヤ人 → 70 年イスラエル滅亡
2) 313 年ローマがキリスト教を国教として宣言したが、続けて迫害したユダヤ人 → 次世代がさまよう
3) 国の回復のためにイギリスにお金を出したユダヤ人 → ヒットラーのユダヤ人 600 万人虐殺
- 本論 患難は機会
- 患難は 0.1% の福音を持っている人々が世界福音化するようになる機会
1) 創 3:15 を握ったヨセフを通して世界福音化された。
2) 血のいけにえを握ったモーセを通して世界がひっくり返された。
3) 捕虜になって行って、契約を持って世界福音化した三人の青年
4) パウロが伝えた福音を受けて信仰、望み、愛を全世界に知らせたテサロニケ教会
  - 患難はマケドニアを生かす土台
1) アレクサンドロス大王が征服して、夫人の名前を付けたテサロニケ
2) アレクサンドロスの名前を取って作ったアレキサンドリア、トロアスで人生のターニングポイントを迎えたパウロ
3) 旧約聖書がギリシア語で翻訳された地 (70 人訳聖書)
  - 患難はローマに行く道
1) 東方とローマをつなぐ道路があったテサロニケ
2) 患難の中で与えられたメッセージ- ローマも見なければならぬ。カエサル前に立つ。
- 結論
- いつも祈る力を見つけしなさい。24 祈りが通じれば良い (1 節、3 節)
  - 患難を恐れずに神様の最も大きい計画を見つけしなさい。患難、苦難を活用して、訪ねて行きなさい。
1) 患難の中に入ったが、それが祝福の道になったヨセフ
2) 患難の中に入ったシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ
  - 患難、大きい困難が来たとき、確実な神様の答えを見つけなさい。患難を受けている者を生かしなさい。
1) 韓国を生かす選択をしたチュ・キチヨル牧師
2) 神の子どもなのに、貧しくて伝道できない問題の中で神様の計画を発見した伝道者

△聖日 2 部礼拝/神殿建築礼拝
三つの終末を置いた献身 (II テサ 2:1-17)

どうして初代教会は、消えることなく世界福音化をしたのか。

御座のやぐらを祈りで建てること

40 日間イエスが説明、使 9:1-15 キリストに会うようになったパウロ、助け主聖霊が臨めば、すべてのことを分かるようにされること

この力によってだけ 237-5000 生かすことができる。癒やし時代を開いて次世代をサミットにするのだ。レムナントは霊的力だけ分かれば何でもすることができる。

□序論_信仰が必要(私たちの力ではできなくて、信仰でこそできるため)

1. 人生道しるべ **7・7・3**

- マタ 28:16-20 世の終わりまでいつもともに → あらゆる国の人々に行きなさい。
2) 使 1:1-8 その契約を握って集まったオリブ山 → 御座のやぐら、40 日間神の国のことを説明
3) 使 2:1-47 この契約を握って集まったマルコの屋上の部屋 → 五旬節の日になって
4) 使 11:19-31 ステパノの患難によって散らされた重職者を通して建てられたアンティオキア教会
5) 使 13:1-4 確実な聖霊の導きを受ける必要がある。聖霊がさせられる働き、場所、人
6) 使 16:6-10 上手くいかないように見れば人生のターニングポイントを見つけなさい。
7) 使 19:1-7、21 マルコの屋上の部屋の働きを再現 → ローマも見なければならぬ。
- 約束(体験) 祈り体験
1) 定刻祈りの奥義- 私と他の人が時間を定めてともに祈り
2) 24・25・00- 祈り 24 になればサミットになる。すると、御座の奥義が成り立って (25) 証拠が与えられる (永遠)。
3) 集中-オリブ山は制限された集中、神様が約束されたことを握って選択された集中、地の果てまでワンネス集中

3. 伝道の最後の方法

- 神殿-偶像神殿が、正しい福音を伝える神殿かの戦争
- 三つの庭 確実な神殿 3) 金土日時代

□本論_確認すること

1. 個人の終末

- 使 9:1-15 召されて何をすべきかを知ったパウロ、使 11:25-26 アンティオキアでバルナバに会う
2) 使 13, 16, 19 病氣の者 3) 使 17, 18, 19 会堂

2. 時代の終末 1) AD70-イスラエル滅亡 2) AD79-ポンペイ噴火

- AD313-ローマがキリスト教を国教に宣言

3. 地球終末

- 惑わされてはならない。2) 背教が起こること
3) 力(しるし)を見せて混乱を与えること

□結論 **決断**- **7・7・3** 堅く握って祈りによって進みなさい。私たちの祈りは

- 脳に刻印される 2. たましいに入る 3. 御座という背景と会う。
△脳を生かすためにゆっくり呼吸して祈りなさい。みことばを握ればたましいが生かされる。永遠なこととつながると、私たちのからだに生活に答えが来て、恵みを受ける。